

風立ちぬ

作・演出・竹内統一郎

東京乾電池公演



出演・柄本明／ベンガル／綾田俊樹／角替和枝／広岡由里子
谷川昭一朗／西村喜代子／麻生絵里子／宮田早苗／鈴木千秋／他
照明・吉倉栄／音響・藤田赤目／美術・松野潤／宣伝美術・蛭子能収／舞台監督・青木義博
制作・劇団東京乾電池・大矢亜由美／森崎事務所・森崎一博



茨木市制50周年

(財)茨木市文化振興財団第13回公演

'98 7月9日[木] 午後7時開演

茨木市クリエイトセンター・センターホール

茨木市駅前四丁目6番16号／阪急「茨木市駅」から西へ徒歩10分

JR「茨木駅」から東へ徒歩10分 市役所・市民会館北100m

入場料●1階席:一般4,000円、高校生以下1,700円
2階席:一般3,000円、高校生以下 800円

※全席指定席※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

チケット発売日●4月20日(月)

主催・お問い合わせ●(財)茨木市文化振興財団☎0726-25-3055

月～金: 9:00～17:15 [土、日、祝日は休業] クリエイトセンター1F

チケット販売所●

(財)茨木市文化振興財団☎0726-25-3055

チケットぴあ☎06-363-9999

チケットセゾン☎06-232-9999

ローソン・チケット☎06-369-6633 [Lコード:57268]

※高校生以下の割引券は、(財)茨木市文化振興財団事務局でのみ取り扱います。

ある結婚式をめぐる恋愛喜劇… 劇団東京乾電池「風立ちぬ」 茨木公演

1998年7月9日(木) 19:00 茨木市クリエイトセンター

風立ちぬ

舞台は、ある地方都市の旧家。庭に一本の木があり、垣根にはいかにも可憐な白い花が咲いている。

秋。設定されている時代は、ただいま現在にはほかならないが、なんと戦時中であるという、乱暴きわまる物語の大枠。

★

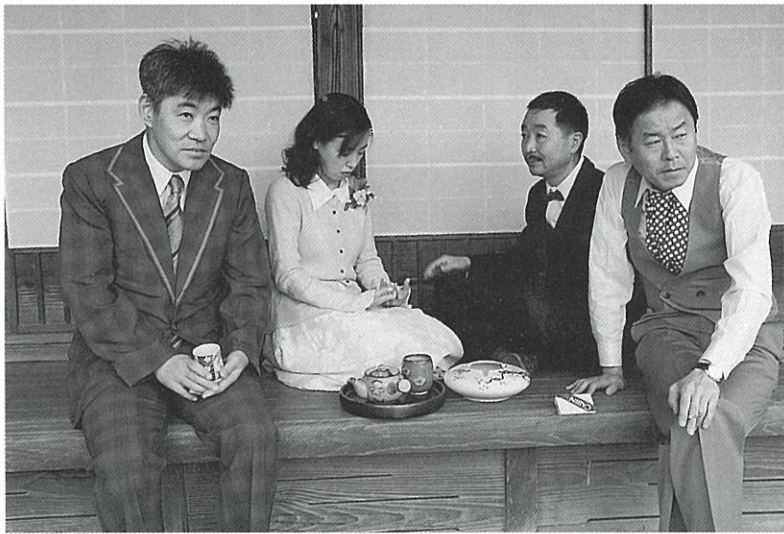
結婚式を翌日にひかえて、吉野さき(広岡由里子)は憂鬱である。意にそわぬ結婚だからだ。それを知ってか知らずか、兄夫婦(綾田俊樹・角替和枝)をはじめとして、周囲はいつにもまして騒がしい。

と、そこへ、さきが子供心にはのかに懂っていた元力士、小川錦一(柄本明)が二十年ぶりに姿を現す。彼は数年前に死んだと聞かされていたのだが…。

さきの告白を受けてたち、彼女との駆け落ちを企てる幽霊男の小川錦一と、それを阻止せんとする無用の発明家、宝木陽之助(ベンガル)との愚かしくも激しい攻防。

更に、いくつかの他愛もない恋の鞘当てが折り重なって、誰も彼もが、まさに戦争そのけのてんやわんやだ。

そして、式当日。写真師(新郎の別れた父・山地健仁)の優柔不断に端を発した、



はてしもないスタクモンダにもようやくケリがつき、出席者一同、記念写真を撮るべくカメラの前に居並んだその時、彼らが目にした、信じられない衝撃的な光景とは…?

★

謎に包まれた人物たちと、不可思議な物体とが織りなす複雑怪奇。闇とホラとの間にかいま見える、驚くべき真実IIデタラメ。これは、堀辰雄の小説に引用され、松田聖子の歌の題名にも盗用された、ヴァレリーのあまりにも有名な詩句、「風立ちぬ、いざ生さぬやも」をキーワードにした、ささやかな生を生きる人々の、愛と死をめぐる、古風で切ない、ナンセンスドタバタ恋愛喜劇である。

主な配役

吉野さき 広岡由里子

さきの兄 綾田俊樹

その妻 角替和枝

小川錦一 柄本明

宝木陽之助 ベンガル

写真師 山地健仁

ほか東京乾電池主要メンバー出演

人気の高いお芝居です。

お早目にチケットをお求めください!